

キャリア教育だより

研修部 キャリア形成連携 2022/07

このおたよりでは、子どもたちの充実した日々の生活とゆたかな将来を願って、「キャリア教育」「キャリア発達」などといったことについてお話ししていきたいと思えます。さて、「キャリア教育」って何でしょうか。時折、新聞広告やテレビ CMなどで「キャリア・アップ」とか「キャリア・プラン」などといった言葉を目にすることがあるかと思えます。少々古い(?)言葉には「キャリア組」などといった言葉もありました。一般的に「キャリア」というと仕事に必要な資格を取るとか、専門性の高い研修を受けるなどというようなイメージがあるのではないのでしょうか。



そのような仕事・職業に関することを「ワークキャリア」といいます。これは、この後紹介する「ライフキャリア」の一部です。ワークキャリアに関する教育は、仕事や職業にかかわる力を育てるということで、資格とか専門教育などといったことが中心になります。特別支援学校では、作業学習や企業内作業実習、職業科の学習など、従来の「進路指導」を中心とした取組みになります。他方、ライフキャリアに関する教育はワークキャリアを含む広い取組みです。「キャリア教育」というときには、ライフキャリアに関する教育を指します。特に、障がいのある子どもたちの教育を考えるとときにはライフキャリアを中心に考えることが重要になってきます。

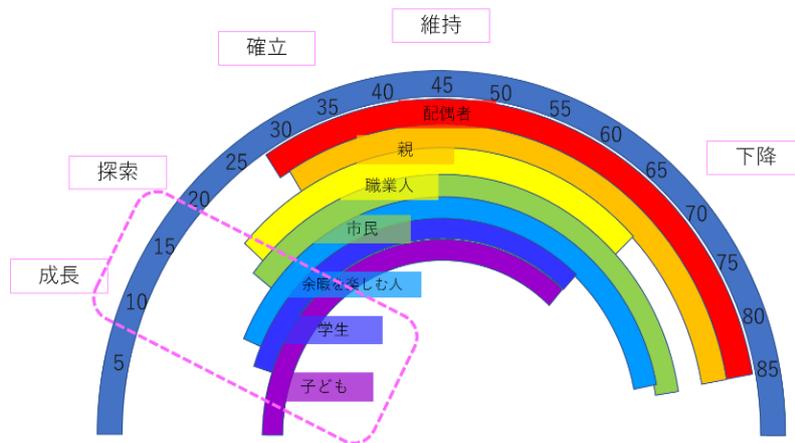


Fig. 1 D. E. Super のキャリア・レインボー
D. E. Super のキャリア・レインボーを参考に作成した。破線で囲んだ部分は小学部入学から高等部卒業までの時期を示している。

では、ライフキャリアとは何でしょうか。左の図をご覧ください。この図は、スーパーという研究者がライフキャリアについて説明したキャリアレインボーと呼ばれる図です。虹は一番内側から「子ども」「学生」「余暇を楽しむ人」「市民」「職業人」などと続いています。これは、ある人の生涯における主なキャリアを示しています。

ライフキャリアの考え方によると、人はこのようなキャリア

ア＝役割を果たしながら生活をしているというのです。また、その役割を十分に果たせるように、経験を通して学ぶことが「発達」だと考えます。ライフキャリアを前提とした「キャリア教育」には、将来の社会生活や職業生活に向けて様々な力を育てるということだけでなく、毎日の生活の中でその子がキャリア＝役割を果たしながら生活することを支えるということや、豊かな生活経験を通して学ぶことも含まれています。つまり、毎日の生活がその子にとって充実したものになるということが大切だと考えます。初回はライフキャリアということについて少し紹介しました。次回は、もう少し詳しく考えていきたいと思えます。(文責：研修部 小川征利)

※ 文中で使用しているイラストは「かわいいイラスト素材いらすとや」のものです